

4-1-3.薩南諸島の植物多様性に関する植物標本・現況調査

田金 秀一郎

Assessment of plant species diversity for the Flora of Satsunan Islands based on herbarium specimens and field surveys

TAGANE SHUICHIRO

鹿児島大学総合研究博物館

The Kagoshima University Museum, Kagoshima University

要旨

薩南諸島の植物相の知見を蓄積することを目的として、鹿児島大学総合研究博物館の植物標本室(KAG)に収蔵されている植物標本のデータベース化の推進とその情報の分析、および屋久島、甌島、トカラ列島中之島・諏訪瀬島の現地調査を実施した。現地調査では鹿児島県レッドデータブック改訂版で現状不明とされている3種をはじめ、絶滅危惧植物53科154分類群の分布・個体数情報を収集した。トカラ列島中之島では、これまで屋久島が南限とされていたハリガネワラビとヤワラシダの2種の自生を確認した。また、鹿児島大学総合研究博物館に収蔵されている標本から、下甌島で得られたマムシグサとムサシアブミの推定自然雑種を見出し、新雑種コシキマムシグサと命名した。

はじめに

広く亜熱帯性気候に覆われ、様々な地史を有する多くの島嶼で構成される薩南諸島は、植物の種多様性が高く、固有種や北限種、南限種が多いことで知られている(鹿児島県2016)。その一方、植物相に関する研究が十分になされているとは言い難く、鹿児島県レッドリスト改訂版(鹿児島県2016)では33分類群が未記載として裸名が用いられ、126分類群が絶滅危惧の評価をするには情報不足の種として挙げられている。また、近年は都市化に伴う土地改変、過疎化に伴う里山の荒廃、増加する帰化植物との競合、シカの個体数増加に伴う過食圧など、植物を取り巻く環境は刻々と、そして時に劇的に変化しており、植物の利用や保全を考えるには、その植物分類群を正しく認識し、基礎的知見を1つ1つ蓄積した上で、最新の情報を活用していく必要がある。

本研究では、薩南諸島の植物相の知見を蓄積し、自生状況の把握をすることを目的として、鹿児島大学総合研究博物館に収蔵されている植物標本のデータベースの整備とその情報の分析、および現地調査を実施した。

方法

鹿児島大学総合研究博物館の植物標本室において、未整理標本の整理と配架済み標本のデータベースへの登録作業を加速させ、未同定の標本が確認された場合はその都度分類群を詳細に検討した。現地調査は2018年4月～2019年10月にかけて屋久島(4回)、甌島(3回)、トカラ列島(中之島・諏訪之瀬島、各1回)、実施した。確認された植物は必要に応じて証拠標本を作成し、鹿児島大学総合研究博物館の植物標本室(KAG)に収蔵した。

結果と考察

2020年1月末の時点で118,722件の標本情報をKAGデータベースに登録し、インターネットを通して広く公開している(<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/hyohonsitu.html>)。シダ標本については現在配架されている標本を中心に21,145点が2019年度中に整備され、各分類群の分布情報を把握、および同定のための参照標本としての利便性が格段に向上した。

現地調査では、屋久島において鹿児島県レッドデータブック(鹿児島県2016)で情報不足種として区分されていたタイトウベニシダ、シマシロヤマシダ、モミジハグマの自生集団を確認し、その個体数情報を得ることができた。また、ジャコウシダ、モトイタチシダ、トゲハチジョウシダ、シマコウヤボウキなどの、絶滅危惧I類48種、II類45種、準絶滅危惧61種の計154種(うちシダ類は58種)の現在の自生状況を確認した。下甌島の植物に関しては、KAGでの標本調査を通じ、下甌島産のママシグサとムサシアブミの雑種と判断される個体の標本が確認された。どちらも鹿児島県内では普通に生育しているが、この雑種組み合わせはこれまでに知られていなかったため、和名コシキママシグサ(新称)として報告した(田金・丸野2019)。トカラ列島中之島では、これまでに屋久島が南限として知られていたヒメシダ科のシダ2種、ハリガネワラビとヤワラシダの生育を確認した(田金ほか, 2019)。

今回得られた情報は「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」や環境省・鹿児島県レッドデータブックの基礎資料として活用が見込まれる。未解決の分類群も多いため、今後とも分類学研究を基礎に、植物地理学や系統学を鑑みながら、薩南諸島の植物相の実態解明に貢献していきたい。

引用文献

- 鹿児島県 2016. 改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物— 鹿児島県レッドデータブック2016— 植物編. 鹿児島県環境技術協会, 鹿児島, 499 pp.
- 田金秀一郎・丸野勝敏 2019. 下甌島におけるテンナンショウ属(サトイモ科)の自然雑種 *Arisaema ringens* × *A. japonicum*. 植物研究雑誌 94(6): 366–368.
- 田金秀一郎・丸野勝敏・鈴木英治 2019. ハリガネワラビとヤワラシダ(ヒメシダ科)を中之島に記録する. *Nature of Kagoshima*, 46: 231–234.